



発行所
 埼玉県立不動岡
 高等学校学友会
 加須市不動岡
 1-7-45
 電話 0480(61)0140

「新時代に想う」

学友会会長 大橋 良一(78回生)



5月に幕明けした令和、そろそろみなさんも新元号になじんできたこ

ろではないでしょうか。平成の時代は、「災害の時代」でもあったといわれておりますように、まさに、大きな災害が繰り返し発生いたしました。地震・噴火・集中豪雨等で本当に数多くの皆様が被災をされ、いまだ復興の途上におられる方も少なくありません。

県内の公立高校への進学者数を見ても、年々減少してきております。県では、このような状況から統廃合を進めようとしております。

「科学教育と国際理解教育の拠点校として」

校長 島村 圭一



今年度当初の人事異動で着任いたしました。どうぞ、よろしく願います。

我が不動岡高校が、その対象となるようなことは、ゆめゆめ考えておりませんが、今のうちから何らかの手を打つ必要はあると思います。校長先生によると、一つの方向として、地域との連携を従来以上に強め、地域とともにある学校として存在感をさらに増していきたいとのことであります。

私は、平成5年4月から平成15年3月まで、教諭として勤務させていただきました。当時は、平成2年度に外国語科が設置されたこともあり、国際理解教育には特に力を入れるようになりました。オーストラリア研修や中国研修などの海外研修も始まり、私も、姉妹校であるキンガロイ高校やフフホト第二中学校への引率に携わり、貴重な経験をさせていたできました。

平成23年度より、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)の研究指定を受け、現在、2期目の研究活動を行い、科学教育の振興に努めています。また、平成27年度よりスーパーグローバルハイスクール(SGH)の指定を受け、今年度最終年度を迎えました。

学友の集い(学友会総会)にご参加下さい

恒例の学友の集いを下記の通り開催いたします。
 また、本年度も学友会特別企画として古希を迎える学友の皆様(80回生)をご招待いたします。(P8参照)
 皆様お誘い合わせの上ぜひご参加下さい。

日時 令和元年11月23日(土) 勤労感謝の日
 9:00受付開始 9:45在校生演技(応援部)
 10:00総会開会
 11:00講演(P5に関連記事)
 「学生時代に経験した国際協力を通して私が学んだこと」
 (芝田匡史114回生)

12:00懇親会
 会場 埼玉県立不動岡高等学校 総会「不動岡ホール」 懇親会「百周年記念館」
 ・ 慶祝者表彰・古希お祝い
 ・ 総会(会務会計報告、平成30年度収支決算報告、役員選出、その他)

※懇親会費3000円は当日受付で頂きます。
 (古希の皆様、慶祝表彰に該当される方はご招待です。)

お問い合わせはTEL0480-61-0140まで

カッションやプレゼンテーションなどを積極的にを行っています。このような活動を通して「科学教育と国際理解教育の拠点校」として高い評価をいただけるようになりました。今後も、このような教育活動を推進し、「明日の世界を創造する品格あるリーダー」を育成してまいります。学友の皆様には、ご理解、ご支援を賜りますように、お願い申し上げます。

皆様からの年会費の一部を国際交流援助金として学校へ支援しています。

2019年度 慶祝者名一覽 (敬称略)

| | |
|---------------|---------------|
| 山崎 秀勝 (85回生) | 東京海洋大学 教授 |
| 染野 雅紀 (90回生) | 羽生実業高等学校 校長 |
| 西澤 康男 (90回生) | 千葉工業高等学校 校長 |
| 福島 光男 (90回生) | 羽生第一高等学校 校長 |
| 森田 剛夫 (91回生) | 鷲宮高等学校 校長 |
| 小熊 孝 (92回生) | 加須市立元和小学校 校長 |
| 千葉 達也 (93回生) | 埼玉県議会議員 |
| 新井 昌也 (94回生) | 上尾鷹の台高等学校 校長 |
| 鎌田 勝之 (94回生) | 宮代高等学校 校長 |
| 新井 秀明 (95回生) | 庄和高等学校 校長 |
| 松本 剛明 (95回生) | 栗橋北彩高等学校 校長 |
| 檜田 光東 (96回生) | 蓮田市立黒浜北小学校 校長 |
| 関根 憲夫 (96回生) | 浦和工業高等学校 校長 |
| 染谷 明生 (96回生) | 春日部工業高等学校 校長 |
| 岡安 儀之 (107回生) | 文学博士 博士号取得 |
| 芝田 匡史 (114回生) | 医学博士 博士号取得 |

学友会表彰について

学友会の表彰は、左記の表彰規程により、自薦または他薦にてご連絡を頂いた方となっており、該当又は、推薦される方は学校(学友会事務局)にご連絡をお願いいたします。

- 1 県市町村の首長、国会・県会議員に選出された者
- 2 学位を受けた者
- 3 国の褒章を受けた者
- 4 国またはこれに準ずる団体や県等の賞状を受賞し功績が顕著な者
- 5 学術文化上特に功績が顕著であり会長が認めた者
- 6 県内公立学校長、県職副部長・部長等に補せられた者
- 7 本校に13年以上勤続された教職員
- 8 本会会務の運営に多大の貢献をした者
- 9 前各号以外で特に会長が慶祝表彰に値すると認めた者

※特に企業において活躍されている方もご推薦下さい。

なお、学友会だよりに掲載する都合上、6月末日までにご連絡を頂けると幸いです。

会員NEWS

女子1回生

共学を目指して

木村 信子 (65回生)



朝夕不動岡高校の女子生徒を見かける度に懐かしさを覚える。

昭和24年全校舎焼失後の翌年、男子校に初めて女子が入学。当時は何の規約も制服もなく、中学時代のセーラー服など着用していた。それが次第に紺か黒のジャケットに変化していった。他の女子高の影響を受け家庭科専攻クラスでジャケットを制作したからである。それらが現在の制服のもとになったのだと思う。

入学時、私たちの学年は男子4クラス、女子2クラス、上級生は全て男子であった。

焼け残りの体育館は、中央に通路を設けていくつかの教室として利用、火災をまぬがれた部屋や物置も教室に早変わりした。卒業式入学式は外

の校庭で行われ、幸い好天であったことに感謝している。

女子生徒の入学により女教師3名が増え、うち2名が担任となった。共学といっても男女の接点は少なく、運動部も別々の練習が多かった。そんな時、男子卓球部が全国優勝を果たし、東大早大へと入学し文武両道の励みとなった。

男性教師は女子生徒への指導経験が無く戸惑う場面も多く、自らを女子に合わせようと努力する様子が優しい言葉に現れた。

当時の先生もそれぞれに仇名があり男子生徒の会話では全て仇名で話され、女子も感化され使用していた。今思い返すと「女性らしさ」という言葉の意味を深く考えず「男女平等」という言葉を強く意識した時代でもあった。例えば赤い羽根募金の時、女子だけ街頭に立たされたことに反発していた人もいた。進学率を考えても男子より低く、女教師を目指す以外、短大入学や就職の道を選んだ。それらは銀行、デパート、公務員などである。

老いて八十半ばの私にとって、不動岡高校は一番懐かしい思い出の地でもある。当時の女子生徒の集いは今も続いている。



女子1回生
私の中の不動岡高校

小暮 洋子 (65回生)



もいて、ひんしゆくを買いました。演劇部では、夕鶴を上演しましたが、主役の二人が照れてしまって、肩に手を置いただけで、ラブシーンになりませんでした。

父も兄も不動岡高校の教師でしたので、少し付け加えます。父は井泉村(現羽生市)に生を受け、生徒時代は14キロの道を歩いて通学したそうです。美術の教師になり、野球部の顧問でもありました。当時は宿直がありまして、弁当を届けるのが私の役目でした。うす暗がりのグラウンドで、生徒を相手にノックをしていた父をたびたび見かけたものでした。

4歳違いの兄もまた、私と入れ違いに不動岡高校の英語の教師になりました。女子会での話題では、三階から「センサーイ」と呼ぶと、ドギマギしてしまうような純な先生だった

不動岡高校は、火事がありました。教室が不足していて、女子は講堂を4つに仕切った教室でした。セーラー服にズック靴の人が多かったと思います。物理、化学などの理数系の教科を受けたのは、4〜5人でした。クラブ活動では、音楽部で初めて混声合唱が生まれました。運動会の仮装行列に葬列を選んで、額に三角をつけて死人の真似をした人(男子)



女子1回生 3年5組

たらしいです。兄は英語青年という雑誌を読んでいましたが、ベアトリーチェというペンネームで、私の年齢や性別を使って投稿していました。「若い女の子の方が返事がいっぱいくるんだよ」などと言っていました。

同理事長及び会長 神田文夫氏(65回)と官民一体となって力を注ぎました。「彩の国まごころ国体」の会場決定を機に、市はその意義を踏まえ、生涯スポーツとしての普及とクライミングの振興を図るため、国体史上初の室内可動式ウォール(壁)を四面常設施設として、平成12年に完成しました。

興に努めている加須方式から学ぶべきものは多いと評価しています。田中氏の愛弟子門間希美氏(県職120回)は、小5でクライミング教室に参加し高校では県代表として国体に出場、平成20年アジアユース大会で優勝、平成28年県国体成年女子監督として埼玉県のクライミング競技天皇杯三連覇に貢献しました。

スポーツクライミングを

支えて

小峰 孝 (67回生)



2020年東京五輪に向けて、日本中が盛り上がっています。そうした中、東京五輪新競技4種目の一つに、「スポーツクライミング」(以下クライミング)があります。

このクライミング追加種目決定の経緯に、平成16年国体クライミング競技会場であった加須市(当時)市長 高瀬一太郎氏(59回)の存在があります。国体誘致には加須市体育協会(当時) 会長 宮崎義重氏(56回)

この施設を有効活用するため、すでに活動していたクラブを母体として加須市山岳連盟が設立され、市教育委員会(当時) 教育長 若山定雄氏(66回)と連携し、スポーツ教室や体験会を協働で継続的に開催してきました。そして加須市主催で「クライミングカップ加須」として独自の大会を立ち上げ、全国に広めると共に平成22年に若者の登竜門「全国高校選抜クライミング大会」の開設に漕ぎ着けたのであります。以来加須市(大橋良一 市長 学友会会長78回)は「クライミングの聖地」として前述の大会をはじめ欧米から評判の高かったワールドカップ3回の開催、日本選手権ジャパンカップ、関東大会、県民総合体育大会等内外の数多くの大会を実施してきました。



加須こいのぼりクライミングウォール(加須市HPより)

2020東京オリンピック

スポーツクライミング競技日程

8月4日(火)〜7日(金)

於: 青海アーバンスポーツパーク

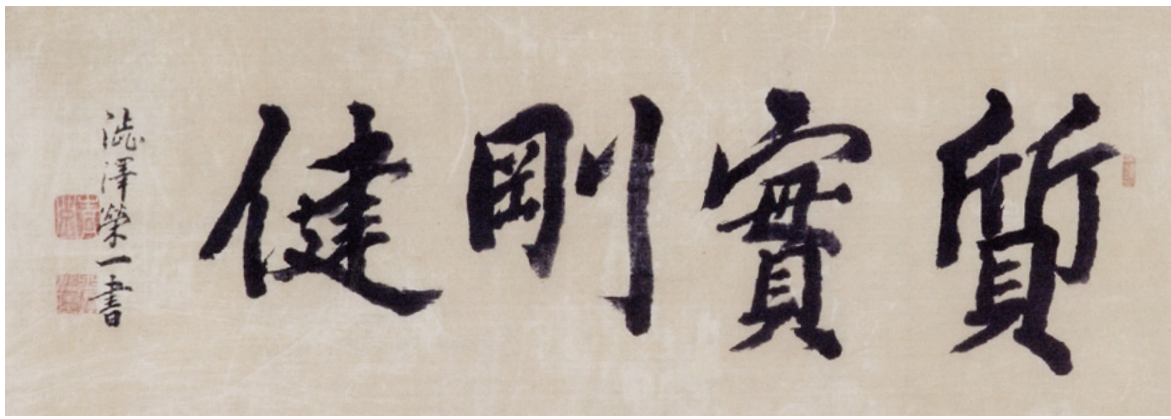


〽扁額に引き寄せられた

人との出会いの人生〽

金子 文雄 (75回生)

不動岡高等学校校訓「質実剛健」の扁額が体育館に掲げてありますが、これは澁澤榮一青淵翁の揮毫の書。私はこれを仰ぎ見て3年間の学校生活を過ごしました。校訓でした



体育館に掲げられている扁額

私が高校3年になり、進学か就職かの岐路に立ったとき、当時澁澤倉庫(株)の常務取締役だった田中昌司氏宅(田中氏は当時大阪から東京本社勤務になり、ちょうど生家に帰郷したところでした。)に父と一緒に進路の相談に伺いました。父は不動岡高校の44回生、田中氏は39回生、サッカー部の先輩後輩の間柄でした。その後、9月に澁澤倉庫(株)の子会社の澁澤陸運(株)より求人が届き、担任の野本幸一先生に同行していたいただき、入社試験を受けました。澁澤倉



埼玉中学校 校友会報 第5号 表紙

庫(株)の人事部長、澁澤陸運(株)の専務取締役と面談、ひと月後には内定通知が届き、私の澁澤との縁が始まりました。入社当時は澁澤陸運(株)で陸運業務を習い、数年後には澁澤倉庫(株)で倉庫業務を習い、その後営業へ、と順風な半世紀を送ることになりました。

とところで、澁澤榮一青淵翁が設立や経営に携わった約500社のうち「澁澤」の名を冠しているのは澁澤家の事業として設立された澁澤倉庫(株)だけです。企業風土は「信為萬事本」(信ヲ万事の本ト為ス)。創業当時から青淵翁揮毫の扁額を応接室に掲げ社訓とし、信用第一の商売学力だけではなく、適材適所の人事システム、青淵翁の経営理念を身上

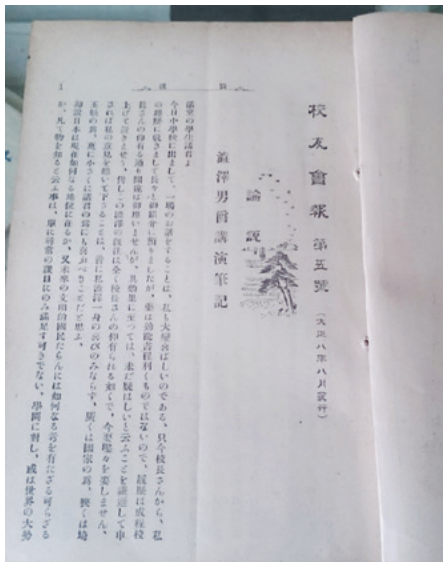
とした教えを役職員共に現在も貫いています。澁澤において、青淵翁の教えに幾分なりとも接することができたこと、顧みるに私が不動岡に入学し、そして父と田中昌司氏との出会いから始まった縁のつながりが、私の人生に幸運をもたらした、とも思えます。そして「質実剛健」青淵翁の扁額が導いた縁では…。

不動岡と澁澤榮一とのつながり

本校体育館には澁澤榮一揮毫の「質実剛健」の扁額があります。残念ながら扁額揮毫の顛末等、詳しいことは記録に残っておりません。

ただ、「大正7年11月2日、澁澤榮一氏講演会『活学問と協同一致』の一行が不動百年(百周年記念誌)にあるのみです。調べてみると校友会の前身ともいえる埼玉中学校、校友会報 第5号に「澁澤男爵講演筆記」が残っていました。それは「満堂の学生諸君よ。」から始まる6ページにわたる熱い講演の記録でした。

皆さんもご存じのように、新1万円札に澁澤榮一の肖像が採用されました。この機会に、澁澤榮一翁と本校とのつながりを調べてみたいと思っていたところ、澁澤翁が設立した企業の一つである澁澤倉庫(株)に縁のあるOBとお会いすることがあり寄稿していただきました。今後このような縁をたどってみたいと思っています。



校友会報 P1 澁澤男爵講演筆記



学友会総会 講演
 講演者 医学博士
 芝田 匡史 (114回生)



今回は、学友会総会での講演を芝田氏にお願いしました。不動岡高校を卒業し、大学に入学してから現在に至るまで、心臓血管外科医を目指した動機、また、ドイツ留学中のエピソードをお話ししていただきます。

現在芝田氏は、心臓血管外科医としての修練を積むためにドイツの病院に留学中です。学友会総会前日までに帰国し講演していただきます。

芝田氏より次のようにメールが届きました。

「第114回生の芝田匡史と申します。私は2019年に医学博士号を授与されました。恩師であり学友会事務局長でおられます小野田幸夫先生のご推薦もあり、この度学友会総会で表彰いただけることとなりました。非常に名誉なことであり、大変嬉しく思っております。

2010年に大学を卒業後、心臓血管外科医として大学病院等での修

練を積み、現在はドイツMünsterにあるSt. Franziskus Hospitalに留学をしております。私の留学のテーマは大動脈疾患に対する血管内治療（ステントグラフト内挿術）に関する最先端の治療法を学ぶこととその研究です。毎日手術室で手術の勉強をする日々ですが、ドイツ語が話せないと前に進めないため夕方からは語学学校にも通い語学の勉強もしています。ゼロからのドイツ語習得を目指しているのですが、高校時代に英語でも苦労したことを思い出すとともに、楽しかった不動岡高校生としての在学生活がとて懐かしいです。不動岡高校を卒業して早17年。今もこうして勉強できる環境に感謝しつつ、留学生生活を謳歌したいと思っております。」



不動岡高等学校卒業生による美術展 ～ときを超えて～のご報告

昨年の秋、「不動岡高等学校卒業生による美術展～ときを超えて～」が開かれました。母校の長い歴史の中でも、このように学友が集って展覧会を開いたのは初めてのことです。



美術作品の発表活動を続けている卒業生の方々にお声がけしたのは、昨年4月のことでした。その結果、25名の方にご参加いただくことになり、最終的に426名が来場されました。

会期中の10月27日（土）には、連携事業として「第9回不動岡高校卒業生によるガラコンサート」が開かれ、美術展にもたくさんの方が足を運んでくださいました。夕方、行われたコンサートとの合同パーティーでは、美術と音楽という垣根を越え和気あいあいとした時間を過ごすことができました。

この報告を書くに当たり代表の中島氏にコメントを求めたところ、「作品を通して再会したことで、みなさんの成長を知ることができた。これを機にさらなる向上を目指してほしい。」とのことでした。

この展覧会が次いつ開かれるかまだ決まっていますが、ひとまわり大きくなった学友たちの作品と出会えるのを今から心待ちにしています。

不動岡高等学校卒業生による美術展実行委員
 松永 康 (88回生)

会 期：2018年10月25日（木）～28日（日）
 会 場：加須市文化・学習センター「パストラルかぞ」展示室
 出 品 者：鮎澤典子、伊豆井省三、川合由起子、神田亮、齋藤馨、齋藤由加、櫻井孝美、塩原和真、塩原康正、島村清子、白石昌夫、鈴木孝、関根典夫、高橋和一、田口益人、田中晃三、中島睦雄、原島秀行、福田豊、藤田博史、本多正直、松永健、宮内達夫、矢嶋利雄、矢野道彦
 (五十音順)

後 援：埼玉県立不動岡高等学校学友会
 協 賛：一心庵、柿崎耳鼻咽喉科医院、(株) ザ・グリーンアカデミー、三愛音楽スクール、関根歯科医院、春山幼稚園
 主 催：不動岡高等学校卒業生による美術展実行委員会
 実行委員：中島睦雄（代表）、新井陽吉、鈴木明、福田豊、松永康

第10回 スペシャル公演 不動岡高校卒業生によるGALA(祝祭)CONCERT

このガラコンサートは、1市3町が合併し新加須市制になった年に始まりました。音楽専攻科もない、ごく普通の高校の学友による音楽会ですが、粒よりの音楽家が集結し、多くの方々の熱い協力を得ることができました。さらに、こうしたレベルの高い演奏会を毎年続けてこられたことは、今、思えば奇跡のようにも感じます。

さて、去年は常連の声楽家と合唱団にトランペットとギターによる兄弟演奏が加わり、迫力ある舞台となりました。そして今回は第10回という節目の記念すべき年、これまでも増して皆様の記憶に残る演奏会を目指します。

第1部はガラコンサート出演常連の音楽家2組（田中利幸87回生、丸山brothers 丸山研也87回生・丸山史郎93回生）とガラコン合唱団による質の高い演奏をお届けします。

第2部は素晴らしい歌声と抱腹絶倒のトークの合わせ技を持つシークレットゲスト（88回生）をお迎えし、夢のようなステージを企画しました。

当日は、災害被災地に義援金を贈るチャリティーを行います。

《ガラコンサート実行委員会》



2019年11月10日（日）
 開場：15：30
 開演：16：00
 会場：パストラルかぞ 小ホール（全席ご招待）
 後援：埼玉県立不動岡高等学校学友会



- | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|---|---|--|--|---|---|--|---|---|---|---|--|---|
| 植竹博 新井廣子 真崎知子 神山登美枝 西山菊代 浅井順 大塚哲郎 池田一夫 中村英雄 中村悟 内田一 堀口やよい 野々山和博 鈴木恒夫 《82回生》 會田章吾 伊藤千廣 白井朝子 荻原康広 柿沼義孝 関根剛 関根知代子 金子秀樹 熊谷麻子 甲山祐示 坂巻博康 三木和明 酒井喜久江 小関裕雄 小川清美 小川良雄 小池正則 森馨 成田守弘 清水亨 石井康夫 赤沢正子 谷川幸夫 池田勝一 長谷川昌則 島海和彦 田口修由 田中元三郎 渡辺洋一 土岐伊弘 内田武夫 片岡みどり 野口秀美 鈴木正一 會田章吾 《83回生》 海野裕 | 宮崎弘行 橋本好司 栗原高 荒木明代 高橋妙子 細井賢 若山勝彦 小倉健治 小林謙一 松岡章 赤坂栄 千葉充 鎗田和男 大島豊 中澤浩之 長澤清輝 田辺厚子 萩原達雄 武正光江 北村利江 矢島一憲 鈴木一雄 荳戸竹彦 《84回生》 柿沼英一朗 関根郁夫 関根雅彦 吉野宏 金子清志 駒井勝 荒井信明 高橋一雄 腰塚隆 小熊喜美雄 小沼重雄 小林政秋 星野守男 川羽田昇 平澤清 木村操 野村邦実 矢島文夫 唯島吉彦 和島元司 《85回生》 小林繁男 穂山潔 磯壽郎 岡尚省 加藤正二郎 柿沼郭 | 吉田憲史 宮内敬夫 橋本賢一 金子文男 栗原啓次 荒井弘 荒井信男 坂本健司 三谷和正 山口清貴 小野田幸夫 植竹浩昌 新倉敏美 神田茂 杉田広之 瀬田義雄 齊藤清 川野克次 川崎一也 大塚均 大島純 大澤弘幸 中里邦男 田村恵二 渡辺忠男 藤倉順子 白田幸男 武正薫 片山秀丈 有賀浩子 《86回生》 奥澤博美 岡野行男 角田守 駒井信亮 関根典夫 吉山朗 吉野道博 五ヶ谷公一 荒川明 荒木文郎 小貝賢一 小川くみ子 松岡延勝 松岡圭子 斉藤康正 石井義久 船川喜正 大塚孝司 大豆生田宏子 中野晃 長谷川隆 | 長野和雄 《87回生》 桜井真二 寺山直昭 小山山四 小川三智雄 神崎充 瀬山良一 中田代助 鎮守町子 田中利幸 藤野一郎 木村弘 齋藤洋子 《88回生》 加納静子 永井清史 荒木宣子 秋山泰 小澤一夫 松永知子 折原佳子 増田敏子 大久保泰伸 谷津孝 中島一郎 長谷部武 島崎弘明 白石秀明 平川秀子 野口馨 鈴木紀之 《89回生》 阿部真由美 井上香代子 江森京美 齋藤規生 櫻井久美 坂田亨 益山典子 山口佳子 山中幸江 渡邊万里子 阿部宏之 阿部弘一 井上美登里 稲垣新一郎 稲葉明美 浦野明美 永沼一浩 奥沢恵治 押味秀俊 | 岡安幸雄 岡安秀二 岡戸明 岡本敬子 沖野和子 荻野博恵 加藤広子 加藤修 加藤千晶 加藤達也 柿沼寿之 関根孝夫 岩崎達之介 岩瀬崇 菊地裕子 吉永信明 吉岡容 吉沢寛 吉田紳吾 吉田正 吉田千代子 宮戸澄子 金井進 金子千之 金子武 駒宮寿一 駒宮和明 栗原秀明 栗田健治 兼平佐知子 江原照雄 荒木俊一 高橋豊 高重規子 高田一 根岸綾乃 佐藤恵美 細村泰夫 坂根茂夫 坂田亨 鷺谷武明 山崎喜市 山崎清 山之内正夫 山畑昭司 山本茂夫 柴崎栄 芝崎勲 狩野知子 酒井春雄 酒井由紀 出井恭一 | 小山雅章 小川達夫 小川博和 小倉久義 小沢信吉 小島等 小野田正範 小野田榮 小柳利明 小林英夫 小林健太郎 小林浩 小林秀行 小林伸一 小林澄江 小林弥太郎 小澤幸夫 松崎和則 松本均 新井秀夫 森田育男 森田好美 須永勝実 杉本真一 菅野光俊 成田哲也 石井仁 石井靖宏 石井隆之 石嶋明男 折田昭 川端信夫 川田尚徳 川鍋茂央 川野辺善夫 早川美智子 増田貴子 増田哲也 増田和昭 村前しのぶ 多田栄樹 太田万郷 泰居克明 大橋哲彦 大戸和孝 大谷誠 大塚和久 大島厚 大澤田利子 沢田裕二 竹内宏美 | 中島一彦 中島紀好 中島守 長田浩一 天下井昭 田村宜也 小野田正 田中孝佳 田中稔 渡辺広 渡辺勝弘 渡邊弘 島田昌彦 島田晴彦 内田藤一 内田豊 南條正仁 梅沢一弘 萩原克己 板橋望 飯島巨久 尾城一幸 芙蓉良雄 武正章 福島正志 平賀義昌 並木崇 堀口まさみ 堀口順男 榎島成夫 茂木実 木村俊之 野原精一 野口達郎 野本宏 矢島初美 鈴木雅子 鈴木久与 鈴木克好 鈴木勝一 蓮見宜幸 對比地紳二 櫻井成行 羽田邦弘 越谷裕美 玉田建夫 金子孝雄 高谷昌宏 小川毅彦 小野寺弘幸 | 庄子洋子 新井健一 石井伯夫 川上良一 増田睦 大戸孝樹 田島洋文 島野亮一 尾澤透 蛭間吉伸 堀越保夫 木村純 野中信英 鈴木望 《91回生》 奥貫芳夫 江原光一 今成貞昭 坂入順子 宗博司 小山眞正 小林一郎 折原浩之 大沼千波 池上正智 武内江里子 野中恵美子 並木崇 堀口まさみ 堀口順男 榎島成夫 茂木実 木村俊之 野原精一 野口達郎 野本宏 矢島初美 鈴木雅子 鈴木久与 鈴木克好 鈴木勝一 蓮見宜幸 對比地紳二 櫻井成行 羽田邦弘 越谷裕美 玉田建夫 金子孝雄 高谷昌宏 小川毅彦 小野寺弘幸 | 木村力 落合章子 蓮実忠夫 《93回生》 岡崎光博 荻原章 鎌田教男 関山共一 古澤伸枝 諏訪文晴 齊藤貢一 千葉達也 大橋一志 中村孝広 中村峰治 飯塚一也 矢嶋正俊 鈴木恵子 《94回生》 三宅光子 羽鳥正行 加藤健司 海老沢葉一 柿沼武夫 関口照枝 金子功 金子尚美 五月女一義 山田徹夫 小嶋素志 新井康之 新島浩 増田正夫 大竹達也 瀧本俊智 渡辺多紀 藤野邦夫 内田靖 堀口真史 矢島浩二 《95回生》 遠藤貴子 菊池和男 吉田昌弘 熊谷壽 後藤雄介 荒木克久 香西知子 高田京子 細村拓也 松本剛明 | 川島規行 川島健司 川島聡 草場康一 飯野浩一 吉田早苗 《96回生》 梅澤義一 奥澤幸夫 岡戸光男 柿崎暁 関口恭子 金子政弘 原島秀行 三塚和幸 松野陽一郎 石川友喜 | 折原義彦 中村哲史 大塚俊 大野佐千代 張真由美 藤井尚子 白石二三恵 野口浩美 野本晃史 野本昌宏 野本智 松本毅 吉澤勉 吉羽誠治 橋本祐志 金子林太郎 市川敏行 小菅敬子 | 清水喜寿 大谷昌紀 大塚俊 大野佐千代 張真由美 藤井尚子 白石二三恵 野口浩美 野本晃史 野本昌宏 野本智 松本毅 吉澤勉 吉羽誠治 橋本祐志 金子林太郎 市川敏行 小菅敬子 | 向井博之 秋谷栄一 松本幸枝 真坂八重子 西原啓子 川島好美 大西伸明 堤光伸 忍田昇一 野本淑子 矢島徹 鷺田博明 《99回生》 加藤富之 橋本智己 山下敏行 市川智之 | 諸井真英 小林秀幸 西片奈々 青木明美 中村和美 渡辺俊一 渡邊輝美 《100回生》 岡本毅 岡本正之 掛川真代 幸谷智 山崎由紀子 市川宏明 小林耕司 千葉啓一 板井大輔 森野明美 | 片山文枝 野本昌寛 《101回生》 塩頭裕治 荻野光生 駒場慎一 穴原江美 高橋慎一朗 齊藤秀行 川島一伸 中村重継 黒須玉衣 福田貞夫 《103回生》 森野明美 |
|---|--|---|---|--|--|---|---|--|---|---|---|---|--|---|

学友会年会費納入のお願い

学友会事業は、学友会会員の皆様
が納入する会費によりまかなわれて
います。会員の皆様からお預かりし
た会費は、学友会だよりの印刷・発
送、学友の集い開催費用等に充てる
ほか、校内の環境整備の資金の一部
として在校生のためにも役立ててい
ます。

学友会ではこうした活動を充実さ
せるため、平成25年度総会において
会則の一部改正により『年会費1,
000円』を明確にしました。さら
にコンビニでも支払えるようになり
ましたのでご利用下さい。今後も会
員の皆様のご理解とご協力をお願い
いたします。

年会費振込にあたって

学友会だより発送の都合上、次年
度会費の振り込み期日を来年7月31
日までとさせていただきます。

訃報

(57回) 福島成夫、(59回) 湯橋十善、
(60回) 小林宏、(65回) 四分直、河
野邦子、(67回) 遠藤英、(68回) 齋
藤誠治、(69回) 武井登、(71回) 竹
之内内男、(72回) 和泉好男、志村喜
一郎、(79回) 齊藤慶子、本橋恵、稲
原さだ子、木村早苗、小山章子、宮崎
英子、熊倉孝、山崎安雄、伊藤逸朗、
吉川周司、斎藤幸三、矢島武、石川武
木村信治、栗原昭一、高塚卓史、杉村
文男、関根寛、野口秀夫、花井富士夫、
堀江俊一、村瀬憲蔵、加藤昇、小林完治、
野原克美、樋口克久、福島巧治、松岡
昇、和貝雅喜、内田秋、服部茂、渡
辺正男、浅見守男、高橋重雄、長沢進
会田俊雄、杉山慶市、関口一、原口年郎
細谷健一、(80回) 小倉美代子、立野
信雄、(82回) 内田武夫、安藤功、(89回)
川島道夫、西島光正、染谷道夫、鷹
栖光昭、田島美知子、坂本寿雄、長谷
川初江、斉藤勝巳、斉藤克己、小貝
雅彦、飛高武彦、渡辺徳男(敬称略)

平成30年11月から令和元年8月まで
の間に学友会事務局にご連絡いただい
た皆様です。

ご冥福をお祈り申し上げます。



〔平成30年度 学友会 年会費納入の方々〕

- 岡安聰 若松誠 瀬山和代 村田梧子 内田裕子 半田貴史 平澤健一郎
- 加藤良幸 吉久保道明 寺崎努 相沢千冬 中野英紀
- 小林稔 日下部綾子 板橋孝幸
- 三浦豊 染谷亮太郎 内藤貴志 櫻田忍
- 伊藤裕 新井康祐 福田辰紀
- 塩崎秀弥 三木智一 新井邦行
- 中西洋一 福島啓之 林麻衣子 齋藤麗
- 戸塚郁江 本田雅子 染谷元子 渡辺千恵子
- 西山佳孝 中里善匡 武田圭二 木村正和 齋藤雅恵
- 田口亜紀子
- 駒井康秀
- 和田裕 《113回生》 工藤暁美 大久保遼子 鈴木孝典
- 堀口雅人 《114回生》 堀口雅人 《115回生》 浅生賢一郎 大久保聡司
- 野本洗一 《116回生》 鈴木耕平 《116回生》 村田順子
- 吉野祐一 金子隼人 江森渉 今成貴生
- 市川めぐみ 駒井信勝 諏訪桃子
- 橋本圭一郎 《117回生》 栗原美幸 《118回生》 船川健一
- 戸枝沙奈子 《119回生》 芝崎勇仁 《119回生》 荒木茉莉奈
- 新井亮裕 《120回生》 鬼頭友幸 大西遼介
- 本間千鶴 《121回生》 酒巻和也 《123回生》 横田貴之
- 貝塚翔太 隅田茜 秋元麻里 飯島春美 堀口哲生
- 山中知奈美 《124回生》 酒巻由梨奈 上原あずさ
- 隅田茜 《125回生》 石沢嵩晴 武正泰史 北林はる菜
- 伊藤実穂 《126回生》 笠原慶太 吉野友子 今野直貴
- 杉山美美花 《130回生》 石井貴大 中村葵 野澤和生
- 鈴木孝典 高橋昌史 《127回生》 橋本涼 金井昂大 熊本淳平
- 千頭雅史 堀口郁美 《128回生》 海老原稔 弓田美織 高橋漣
- 三橋優貴 深井美歩 諏訪雅英 瀬山智花
- 西畑美来 設楽岳宏 千葉真理子 中村開 白石拓規
- 蛭川絢佳 武笠夢乃 武笠峻平 北島直人
- 六渡三紗 六渡千紗 和佐田紫 《129回生》 岡田菜々子 角田マツカン
- ピラルアニー 菊池智也 荒木勇祐 佐瀬志也 秋山桃子 小原健
- 小島悠加 松本駿 折原進太 飯尾ありさ 蛭田啓吾
- 野本怜菜 鈴木智明 鈴木翔子 《130回生》 阿部咲月 伊平恵太郎
- 横山春樹 横田仁哉 岡崎愛花 間瀬彩香 金子茉莉 古澤翔
- 佐々木美月 佐藤雅貴 佐藤昂弥 佐藤大貴
- 坂上悠己 坂本柚樹 柳原佳緒里 集貝信之
- 小森緒音 小島菜希 小林拓未 小林歩夢 神田紗英
- 泉澤由衣 前田風 竹谷椋真 竹内愛理
- 長谷川茉佑 田邊佑太 渡辺惟 島田耕輔
- 内田光 飯塚理恵 伏見有貴 望月翔太
- 柳田恭佑 鈴木かりん 澤邊夏毅
- 《羽分：1回生》 阿部武夫 長野憲三 《羽分：3回生》 大谷久夫 長谷川源治
- 《羽分：4回生》 河田喜三郎 《羽分：7回生》 大月美代子 《羽分：10回生》 森田清子
- 《羽分：12回生》 伊澤一郎 原口英喜 《羽分：13回生》 中村和子
- 《羽分：15回生》 柿沼準一 木村隆子 《羽分：17回生》 中村正次郎 湯本一
- 《羽分：18回生》 星フヂ子 《中：1回生》 赤坂登志子 網取八重子
- 《中：2回生》 坂本柚樹 坂本利雄 《中：3回生》 加藤博三
- 《中：9回生》 増田ひろ子 天下井良子 《中：10回生》 山口定男 中田英文
- 《中：11回生》 酒井美恵子 《中：3回生》 須田鶴郎 《中：6回生》 並木啓政 鈴木貞市
- 《中：8回生》 田口富治 《中：9回生》 国分敏雄 《中：10回生》 石川竜一
- 《中：12回生》 高橋和一 大野昭子 《中：18回生》 齊藤悦子 《書分：3回生》 長谷川作子
- 《書分：8回生》 石井ひで 《書分：3回生》 大熊實 中根敏雄 中山弘
- 《書分：7回生》 戸井田繁 若山弘 小峯英滋 都築利夫
- 《北分：7回生》 首藤幸子 《北分：1回生》 飯塚利雄 加藤博三
- 《北分：15回生》 山口定男 中田英文 齊藤美千子 《騎分：2回生》 黒川和子
- 《騎分：8回生》 野口千栄子 《敬称略》

今後もし引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

ご寄付 65回生 齋藤 馨 様 ありがとうございます。

古希祝のご案内

学友会では平成27年度より、その年に古希を迎えられる皆様を学友会総会・懇親会に招待して参りました。最初の回は参加者10名程度でしたが、その後、平成29年には同時に同窓会を企画される皆様（78回生）がいらつしやるなどして次第に浸透し、昨年は約50名の皆様にご参加くださいました。今後も学友の皆様との懇親を深めるため、学友会では様々な催しを企画致しますので是非ご参加ください。

今年は80回生の皆様をご招待いたします。（開催の詳細は学友会だよりの1ページ目をご覧ください。）お誘い合わせの上、是非母校にいらしてくだされ。

81回生 協力依頼

来年は81回生の皆様をご招待致します。古希のお祝いについて学友会事務局との企画調整にご協力いただける方がいらつしやいましたら、ご連絡をお願いします。

連絡先 不動岡高校学友会
y-akasaka@fudooka-h.spec.ed.jp

80回生の方

昭和43年（1968）3月卒業 生年月日（参考）
昭和24年4月2日
昭和25年4月1日

・懇親会費は無料です。
・古希の皆様に向けたイベントを用意しております。

申し込み方法

学友会だよりと同封されている返信はがきの回生欄に「80回生」とお書きいただくだけで結構です。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



昨年の懇親会にて 古希招待者あいさつ



昨年の懇親会にて

80回生の皆様へ

古希ご招待の関係で、ご友人に連絡を取りたい等お問い合わせがありましたらFAX、あるいはメールにてお問い合わせください。

学友会担当者よりお返事いたします。

FAXの宛先およびメールの件名には、必ず「学友会古希招待担当者」と入れてください。

FAX：0480-63-1013
メール：y-akasaka@fudooka-h.spec.ed.jp



同窓会・OB会 報告

第89回卒業生還暦同窓会

去る2月10日に第89回卒業生の学年同窓会が開催されました。前回から20年ぶりでしたが、還暦という人生の節目に、大きく変貌した学校、懐かしい友人や恩師にあうため159名の同窓生と4名の先生が集まり、大盛況の同窓会となりました。



きつかけは前年7月に開催した有志の飲み会、卒業生で母校の校長となった武正校長在任中に開催することになりました。各クラス25名の方に幹事をお願いし、秋開催をめざしましたが、百数十名の居所不明者の探索と案内状の取りまとめ、持ち方

の検討など時間を要することから翌年2月の開催となりました。不明者探索は友人の輪やインターネット、かぜのうわさを手がかりとした電話攻勢など幹事の皆さんの大変な活躍で、最終的には22名まで減らすことができました。一方で、残念ながら17名の方が故人となられていたことわかりました。

当日は、受付で高校時代の写真付ネームプレートを受取り、学内見学を行った後、校舎中庭にて応援団の大団旗をバックに集合写真を撮りました。同窓会は記念館食堂にて立席で行い、武正校長による学校の近況説明、出井・藤間・坂詰・赤荻先生より一言、出井・鈴木（旧姓市川）



氏によるミニコンサート、荻野氏と現役応援団による校歌斉唱など行い、参加した面々は高校生に戻ったような時を過ごすことができました。最後に、70歳の再会を誓いあいました。二次会も105名の参加で会場の「さかもと」は超満員、座敷のあちこちに車座ができ、懇談と撮影会が行われました。

参加した多くの方から、知らせてくれて皆に会うことができよかったという声を聞きました。また、参加できなかった方からも資料や写真をほしいという声もありましたので、学友会やネットを使った写真のフォルダーを使い知らせることとなりました。大変有意義な同窓会になったかと思えます。

(89回生 岡戸 明)

92回生2年5組クラス会報告

2019年7月13日(土) 久々の不動岡高校92回生2年5組のクラス会を開催しました。

前回の開催が2006年に行われ13年振りのクラス会となりました。卒業年度のクラスでの同窓会ではなく、2年次のクラスでの集まりとして卒業以来2年おきで開催してきました。当時のクラス担任の立川伊津夫先生と共に交遊を続けてきましたが、2015年10月に立川先生



が逝去され、翌年に墓参りを兼ねたクラス会を実施しそれ以降途絶えてしまいました。

今回、幹事の矢澤雅彦さん、私張替と家内にて久し振りの開催を決意し開催の運びとなりました。

13年も経過し連絡先の整備が大変でしたが、連絡ネットワークにLINEを導入し25名が参加頂き連絡伝達の効率化を行い、連絡が不明の方も今回明確にしました。

当日のクラス会は久喜駅近くの創作料理の店で参加は14名と出席率は32%でしたが、久しぶりの開催に盛り上がりがありました。

60歳まであと2年の同士の集まりに経過した年数はほとんど感じず当時の想い出に浸ることができ楽しい

ひと時を過ごすことができました。又、定期的に開くことを申し合わせして次回の幹事に引き継ぎをしました。

(92回生 張替 守)

92回生は還暦同窓会を2021年に開催する予定です。

【同窓会連絡】

112回生同窓会が開催されます。

日時：令和元年11月30日(土)

12時～

場所：不動岡高等学校

百周年記念館

幹事：中村 実孝

寄稿依頼

学友会だよりの原稿を募集します。

同窓会開催報告や不動岡高校に関することなら、何でも結構です。

原稿を写真とともに不動岡高校学友会宛にお送りください。(800字程度)

次回の掲載は、第63号令和2年10月発行です。

内容によってはこちらからご連絡させていただきます。ご連絡先を必ずご記入ください。お待ちしております。

〒347-8513

加須市不動岡1-7-45

埼玉県立不動岡高等学校学友会

「学友会だより」担当 宛



平成30年度学友会活動

会務・会計報告

(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

- 平成29年
11月13日(月) 第11回役員会(正副会長会)
11月23日(木) 学友会総会(本校不動岡ホール・記念館)
11月23日(木) 78回生同窓会
12月12日(火) 第1回役員会
平成30年
1月16日(火) 第2回役員会
1月31日(水) 第130回卒業生入会金受領
2月6日(火) 第3回役員会
3月6日(火) 第4回役員会
3月14日(水) 第130回卒業式 参列
3月23日(火) 363名(男166女197)(普通科323・外国語科40)
4月6日(金) 第133回入学式参列
4月10日(火) 362名(男162女200)(普通科322・外国語科40)
5月8日(火) 第5回役員会
5月19日(土) 第6回役員会
5月27日(日) 79回生同窓会
8月6日(日) 88回生3年3組同窓会・鷲宮支部会懇親会
8月12日(日) 93回同窓会
9月3日(月) 第10回役員会
10月1日(日) 「不高学友会だより」第61号発行【学友会だより発送対象者】計4048通
10月2日(火) 第11回役員会
10月25日(木) 28日(日) 不動岡高等学校卒業生による美術展 後援
10月27日(土) GALACONCERT(パストラルかぞ) 後援
※不働岡高等学校の国際交流事業を支援しております。
※会費納入をコンビニ決済も可能にしました。
※後援の名義使用についての規定を設けました。

平成29年度 学友会会計決算報告書
(平成29年11月1日～平成30年10月31日まで)
収入総額 16,802,568円
支出総額 8,204,199円
繰越 7,998,379円 (次年度へ繰り越し)

平成29年度 学友会環境整備会計決算報告書
(平成29年11月1日～平成30年10月31日まで)
収入総額 12,054,975円
支出総額 10,543,628円
繰越 1,509,347円 (次年度へ繰り越し)

後援申請書
申請者 住所 団体名等
代表者氏名 電話番号
事業等の名称
事業等の期日
会場
事業等の目的及び内容
他の後援・共催
過去の実績
連絡先
住所
氏名
電話番号
※不働岡高等学校の国際交流事業を支援しております。

後援の名義使用について

学友会の会員が実施する事業または行事において学友会の後援を希望する場合、後援の名義使用についての規定を設けました。

埼玉県立不動岡高等学校学友会(以下「学友会」という)の会員が実施する事業又は行事(以下「事業等」という)において、学友会の後援を希望する場合、学友会は下記の基準によりその名義使用を承認します。

- 1 後援の定義
会員が中心となって実施する事業等の趣旨に賛同し、奨励の意を示して名義の使用を承認すること。

2 手続き

学友会の後援を希望する会員は、後援申請書(様式第1号)を事業等が始まる前に学友会に提出してください。提出いただいた申請書等の審査を行い、その結果を提出後二ヶ月以内(審査会は月一開催のため)に「後援承認通知書(様式第3号)」により通知します。

承認を受けた後に事業計画を変更するときは、変更内容を記載した書類を添えて後援変更申請書(様式第2号)を学友会に提出してください。提出後一ヶ月以内に通知します。

事業等が終了したら、事業の実施結果が明確に把握できる資料等を二ヶ月以内に学友会に提出してください。

3 後援の承認基準

- (1) 主催者または主催団体の構成員が学友会の会員であること。
(2) 学友会の推進発展に寄与すると認められる事業等であること。
(3) 主催団体の存在が明確であり、事業等の遂行能力が十分であると認められること。
(4) 参加費等を徴収する場合は、徴収の目的が適正かつ明確で、営利を目的としないことが明らかであること。
(5) 法令又は公序良俗に反しない事業等であり、政治的中立性、宗教的中立性を損なうおそれのない事業等であること。

4 その他

後援が承認された事業等は学友会ホームページに掲載して紹介します。

学友会新役員紹介

副会長



酒巻 浩一 (92回生)

元不動岡高校PTA会長・後援会長。これからは学友会副会長として貢献します。

学友会校内幹事紹介(回生順)

- 鈴木 明 (90回生) 美術
伍井 政広 (91回生) 体育
藤間 禎 (99回生) 国語
新井 学 (118回生) 英語

※学友会総会時には、会場設営、受付等お手伝いいただきます。

学友会よりお知らせ

令和2年5月30日(土) 31日(日)

不動岡高等学校文化祭に学友会資料展示室を公開します。

質実剛健ポロシャツ、質実剛健タオル、袖口校章入りポロシャツ等販売します。

また、今回は新しい企画も検討しております。

決まり次第学友会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



頑張る不高生!

部活動報告

運動部

ラグビー部

令和元年度国体東部地区予選

第2位

剣道部

春季東部支部大会

女子団体 第2位
男子個人 第3位

バドミントン部

関東大会東部地区予選会

女子団体 第3位

学校総合体育大会東部地区予選会

女子個人戦ダブルス 第2位

卓球部

学校総合体育大会東部地区予選会

男子団体 第3位
女子団体 第2位

第32回県民総合スポーツ大会宮代町卓球大会

男子シングルの部1部

女子シングルの部1部

女子シングルの部1部

男子ダブルスの部1部

女子ソフトテニス部

春季東部地区大会

陸上競技

学校総合体育大会埼玉県大会

男子800m 2位
男子棒高跳び 3位
男子三段跳び 5位
男子三段跳び 優勝
女子棒高跳び 5位

関東高校陸上競技大会

男子800m 3位
(インターハイ出場)
男子三段跳び 優勝
(インターハイ出場)

男子棒高跳び 7位

男子三段跳び 6位

女子棒高跳び 5位

埼玉県選手権

文化部

放送部

NHK杯全国高校放送コンテスト埼玉県大会

朗読部門

入選

第66回NHK杯全国放送コンテスト

校内放送研究発表会 出場

写真部

第38回埼玉県高等学校写真連盟写真展自由部門

書道部

第58回埼玉県硬筆中央展覧会

吹奏楽部

日本ジュニア管打楽器コンクール本選考会

ソロ部門パーカッションの部/高校生部門

全日本吹奏楽コンクール県大会

全日本吹奏楽コンクール西関東大会 推薦

奨励賞

特選賞



吹奏楽部・羽生産文にて

新聞部

第43回全国高校総合文化祭 最優秀賞

7月29日から31日まで、第43回全国高校総合文化祭(さが総文)が佐賀県勤労者体育センターで開催された。その際、第23回全国高校新聞年間紙面審査賞の最終審査の発表が行われ、本校の新聞部が全国で5校選ばれる最優秀賞に選ばれた。この賞は、私が赴任してから初めてのこと、前年度の優秀賞(優秀賞は最優秀賞の下)の7校が選ばれる)に引き続きの快挙と

なった。日頃、記事を書いたり、編集作業をしたりと、活動が目立つ部活ではないが、部員にとって何よりの喜びであったと思う。これもひとえに、学友会や教職員の多大なるご協力があったからこそである。部員にはそのことを忘れず、これからもスクールジャーナリズムを追求し、良い紙面を作り、新聞部の伝統を継承してほしいと思う。

(顧問 関口恭子 96年生)



新聞部・2019さが総文にて

SGH

全国スーパーグローバルハイスクール課題研究会 SGH甲子園2019

プレゼンテーション部門 出場

SSH

令和元年度スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会(全国) ポスター賞 受賞

ポスター発表の様子



SSH生徒研究発表会(全国)

校内人事

新教職員

| 氏名 | 職名・教科 | 回生 |
|-------|----------|-------|
| 島村 圭一 | 校長 | |
| 遠藤 宏之 | 教頭 | |
| 津田 健 | 地学 | 94 |
| 石崎 祐貴 | 英語 | |
| 岡部 杏 | 国語 | |
| 神川 達彦 | 国語 | |
| 澤田 将智 | 社会 | |
| 葉山 春美 | 国語 | 86 |
| 小堀 至 | 国語 | |
| 川原 俊秀 | 社会 | |
| 駒宮 寿一 | 数学 | 87 89 |
| 小林 国雄 | 数学 | |
| 石島 昇明 | 数学 | |
| 平岩 真一 | 理科 | |
| 柳澤 利次 | 体育 | |
| 白石 秀明 | 体育 | 88 |
| 石川 厚 | 体育 | |
| 関野眞理子 | 英語 | |
| 柳瀬 繁次 | 数学 | |
| 伊藤 正寛 | 物理 | |
| 岡村 脩平 | 国語 | |
| 齋藤 公央 | 国語(9月より) | 112 |
| 中島 圭子 | 事務室長 | |
| 勝沼 瑠生 | 主事 | |
| 金子 早苗 | 司書 | |

転出・退職者

| 氏名 | 転出先 | 回生 |
|-------|-------------|-----|
| 武正 章 | 越谷北高校(参与) | 89 |
| 鈴木 久代 | 羽生高校 校長 | |
| 後藤 範子 | 退職 | |
| 池田 浩二 | 久喜高校 | |
| 神田恵美子 | 栗橋北彩高校 | 98 |
| 花野井 聡 | 神奈川県 私学 | |
| 池田登美男 | 浦和高校非常勤 | |
| 近藤 康子 | 任期满了 | |
| 岡戸 隆正 | 任期满了 | |
| 金井 文雄 | 任期满了 | 85 |
| 清水 高史 | 春日部工業高校再任用 | |
| 西村 隆史 | 誠和福祉高校再任用 | 87 |
| 福田 直史 | 栗橋北彩高校再任用 | |
| 井草 亘 | 春日部高校 | |
| 齋藤 公央 | 上尾高校 | 112 |
| 岡部 節子 | 春日部女子高校事務室長 | |
| 伊藤 真弓 | 羽生高校 主任 | |
| 羽鳥 喜子 | 伊奈学園総合高校 司書 | |



平成31年

進

路

実

績

国公立大学108名合格（現役84名）

難関私立大学

早稲田大学11名・慶応大学3名・上智大学2名・東京理科大学21名
 明治大学・青山大学・立教大学・中央大学・法政大学・学習院大学217名

過去3年間の合格者数（のべ人数）

国公立大学

| 大学名 | 2017 | | 2018 | | 2019 | |
|----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|
| | 計 | 現 | 計 | 現 | 計 | 現 |
| 北見工大 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 北海道大 | 1 | 0 | 3 | 2 | 2 | 1 |
| 岩手大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 東北大 | 2 | 1 | 1 | 0 | 6 | 3 |
| 秋田大 | 1 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 茨城大 | 2 | 2 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 筑波大 | 6 | 5 | 4 | 2 | 4 | 3 |
| 宇都宮大 | 5 | 5 | 12 | 11 | 5 | 5 |
| 群馬大 | 1 | 0 | 4 | 4 | 5 | 3 |
| 埼玉大 | 15 | 12 | 17 | 14 | 26 | 22 |
| 千葉大 | 6 | 3 | 5 | 4 | 2 | 2 |
| 東京海洋大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 |
| お茶の水女子大 | 1 | 1 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 電気通信大 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 東京医歯大 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 東京外大 | 4 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 東京学芸大 | 6 | 5 | 8 | 6 | 7 | 5 |
| 東京農工大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 横浜国立大 | 0 | 0 | 2 | 1 | 2 | 1 |
| 新潟大 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| 富山大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 金沢大 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 0 |
| 山梨大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| 信州大 | 2 | 2 | 3 | 1 | 2 | 1 |
| 宮崎大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 会津大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 高崎経大 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 | 1 |
| 埼玉県立大 | 6 | 6 | 6 | 6 | 5 | 5 |
| 首都大東京 | 4 | 2 | 4 | 4 | 6 | 5 |
| 福井県立大 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 都留文科大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 |
| 長野大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| その他 | 8 | 6 | 10 | 6 | 3 | 3 |
| 国公立大学合計 | 77 | 60 | 93 | 74 | 108 | 84 |
| 大 学 校 | | | | | | |
| 国立看護大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 防衛大 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 |

私立大学

| 私立大学 | 2017 | | 2018 | | 2019 | |
|---------------|------------|------------|------------|------------|-------------|------------|
| | 計 | 現 | 計 | 現 | 計 | 現 |
| 自治医大 | 4 | 4 | 1 | 0 | 2 | 1 |
| 埼玉医大 | 2 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 |
| 城西大 | 5 | 4 | 1 | 1 | 10 | 10 |
| 獨協大 | 28 | 24 | 29 | 23 | 44 | 38 |
| 日本工大 | 2 | 1 | 2 | 2 | 8 | 8 |
| 文教大 | 28 | 27 | 32 | 30 | 28 | 27 |
| 青山学院大 | 8 | 4 | 16 | 11 | 15 | 11 |
| 大妻女子大 | 4 | 4 | 11 | 11 | 13 | 13 |
| 学習院大 | 27 | 19 | 20 | 15 | 25 | 14 |
| 共立女子大 | 7 | 7 | 12 | 12 | 11 | 11 |
| 慶応大 | 4 | 1 | 3 | 3 | 3 | 1 |
| 国学院大 | 3 | 1 | 10 | 8 | 10 | 5 |
| 芝浦工大 | 39 | 30 | 43 | 37 | 55 | 43 |
| 順天堂大 | 8 | 7 | 1 | 1 | 3 | 2 |
| 上智大 | 5 | 3 | 6 | 2 | 2 | 2 |
| 成蹊大 | 13 | 6 | 19 | 16 | 9 | 8 |
| 成城大 | 11 | 5 | 14 | 13 | 21 | 16 |
| 中央大 | 28 | 19 | 32 | 17 | 35 | 25 |
| 津田塾大 | 7 | 7 | 10 | 10 | 9 | 8 |
| 帝京大 | 14 | 12 | 9 | 9 | 9 | 6 |
| 東海大 | 3 | 3 | 9 | 8 | 12 | 8 |
| 東京家政大 | 11 | 11 | 25 | 25 | 16 | 16 |
| 東京工科大 | 6 | 5 | 6 | 6 | 8 | 8 |
| 東京電機大 | 17 | 12 | 17 | 16 | 37 | 31 |
| 東京理大 | 18 | 9 | 20 | 14 | 21 | 13 |
| 東洋大 | 84 | 72 | 115 | 98 | 151 | 126 |
| 日本大 | 64 | 40 | 59 | 38 | 36 | 26 |
| 日本獣医生命大 | 4 | 4 | 2 | 2 | 4 | 4 |
| 日本女子大 | 11 | 10 | 13 | 12 | 21 | 19 |
| 法政大 | 50 | 36 | 46 | 36 | 57 | 43 |
| 武蔵大 | 18 | 12 | 12 | 10 | 19 | 16 |
| 東京都市大 | 4 | 3 | 2 | 2 | 6 | 6 |
| 武蔵野大 | 7 | 5 | 9 | 9 | 14 | 14 |
| 明治大 | 35 | 25 | 30 | 19 | 34 | 22 |
| 明治学院大 | 12 | 10 | 4 | 3 | 6 | 5 |
| 明治薬大 | 5 | 5 | 1 | 1 | 8 | 7 |
| 立教大 | 38 | 33 | 40 | 34 | 51 | 47 |
| 早稲田大 | 19 | 14 | 14 | 12 | 11 | 8 |
| 同志社大 | 1 | 1 | 3 | 1 | 5 | 0 |
| 立命館大 | 0 | 0 | 2 | 0 | 6 | 0 |
| その他 | 219 | 177 | 241 | 219 | 218 | 186 |
| 私立大学合計 | 873 | 674 | 941 | 786 | 1054 | 855 |

今春の入試状況について

高まる「安全志向」

進路指導主事 橋本 雅文

今春の大学入試の最も顕著な傾向です。全国的に、国公立、私立ともに、難関大学群へ出願が微減となる一方で、中堅大学群への出願が大幅増となりました。2020年度入試はセンター試験の最終年、再来年度からは新制度入試の実施が予定されています。来春は一層「安全志向」が強まること予想されますが、現3年生は、弱気にならず、第一志望に拘る姿勢を持ち続けることが大切です。

今春の不動岡生の合格状況をみると、国公立大に108（現役84）名が合格しました。前年比で増加が目立った大学は、東北（1↓6）や埼玉（17↓26）などです。ここ数年、関東圏外の大学へも出願数が増加しており、今春も30名が合格しています。恵まれた学習環境を考慮すれば、特に理系の生徒にとって、地方国公立大は魅力ある選択肢でしょう。

私立大はここ数年、入学定員の厳格化に伴う合格者数の絞り込みにより激戦が続いています。最難関の早慶上理に37名、本校のボリュームゾーンであるGMARCHには、前年比33名増の217名が合格しました。

国公立、私立を問わず、上位志望校に合格した不動岡生の共通点は、科目の「垣根」を作らないということです。受験科目にとどまらず、眼前の全ての授業科目を誠実に学ぶ姿勢を保ち続けることこそが、志望校合格への最短ルートとなるようです。

学 友 会 ホ ム ペ ー ジ

http://gakuyu.fudooka-h.ed.jp

メール配信サービス

学友会では学友の皆様と親交を深めるために、メールによる情報配信サービスを始めました。右記QRコードで是非ご登録下さい。

